

船舶事故等調査報告書

平成26年10月23日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2014横第68号
事故等種類	衝突（岸壁）
発生日時	平成26年5月24日 06時30分ごろ
発生場所	京浜港川崎第1区の塩浜運河 神奈川県川崎市所在の水江信号所から真方位055°310m付近 （概位 北緯35°31.0′ 東経139°44.6′）
事故等調査の経過	平成26年6月20日、本事故の調査を担当する主管調査官（横浜事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。
事実情報	
船種船名、総トン数	貨物船 勇亀丸、331トン
船舶番号、船舶所有者等	134080、御蔵汽船株式会社
乗組員等に関する情報	船長、四級海技士（航海）
死傷者等	なし
損傷	本船 左舷船尾外板に亀裂及び凹損 岸壁 なし
事故等の経過	<p>本船は、船長ほか4人が乗り組み、空船で船首約0.4m、船尾約2.7mの喫水により、塩浜運河の‘川崎市営ふ頭A岸壁とB岸壁の間にある岸壁’（以下「本件岸壁」という。）に着岸作業中、船長が、船橋で操船に当たり、船首に一等航海士、次席一等航海士及び甲板長を、船尾に機関長をそれぞれ配置し、右舷錨を投下して錨鎖3節を伸出し、右回頭しながら出船左舷着けする態勢で本件岸壁に接近した。</p> <p>船長は、本件岸壁方向から照らす朝日がまぶしくて本件岸壁が見えにくかったので、本船と本件岸壁との距離を正確に把握できなかった。</p> <p>本船は、本件岸壁に接近したところ、平成26年5月24日06時30分ごろ左舷船尾外板が本件岸壁の防舷材に衝突した。</p>
気象・海象	<p>気象：天気 晴れ、風向 北、風力 3、視界 良好</p> <p>海象：海上 平穏、潮汐 下げ潮の末期</p> <p>日出時刻：04時30分</p>
その他の事項	<p>船長は、約25年間の乗船経験があり、本船には、約21年前から一等航海士として乗船し、約16年前から船長職に就いており、本件岸壁への着岸には慣れていたので、本船と本件岸壁との距離を正確に把握できなくても着岸できると思った。</p> <p>船長は、本船が本件岸壁に平行に接近していないので、船内マイクで船首を本件岸壁に寄せるように乗組員へ指示したが、乗組員からの</p>

	報告はなかった。
分析 乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	あり なし なし 本船は、塩浜運河の本件岸壁に着岸作業中、船長が、朝日がまぶしく、本船と本件岸壁との距離を正確に把握できなかったことから、左舷船尾が本件岸壁に衝突したものと考えられる。
原因	本事故は、本船が、塩浜運河の本件岸壁に着岸作業中、船長が、朝日がまぶしく、本船と本件岸壁との距離を正確に把握できなかったため、左舷船尾が本件岸壁に衝突したことにより発生したものと考えられる。
参考	今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。 <ul style="list-style-type: none"> ・着岸する際は、各配置部署と連絡を密に取り、船体と岸壁との距離を把握すること。